

JDS受入大学要望調査(2025年度)

調査票② 基本情報

※調査票①の内容に関し、受入れを想定する研究科／専攻単位でご記入ください(日本語のみ)。

※想定されるJDS留学生の受入先が特定の専攻となる場合は、専攻単位で作成願います。

(特定のプログラムで対応される場合も、これに準じます。)

※複数の対象国・コンポーネントに対し調査票①をご提出いただく場合も、受入れを想定する研究科／専攻及び下記2以降の条件が共通する場合、本調査票②の回答は1件で結構です。

大学名		
研究科名		
専攻、コース、プログラム名		
所在地	郵便番号	
	住所	
調査票②に関するご担当窓口	部署名	
	役職	
	名前	
	TEL	
	mail	
結果通知文書に記載する方の情報 (研究科長、教授、事務局長等に相当する方が望ましい。)	部署名	
	役職	
	名前	

1. 調査票①をご提出される対象国・コンポーネント(開発課題)

国名、コンポーネント名	1期(バッチ)当たり 受入許容人数	次期(バッチ)合計 (自動計算)
上記の提案全体での大学／研究科での受入許容人数		

2. コース開設状況

入学月(英語での履修者向け)		月
学期制度		学期/タームで構成
卒業に必要な単位数	【必修】	単位
	【選択】	単位
対象コースでJDS留学生が英語で受講可能な 科目数	【必修】	科目
	【選択】	科目

対象コースの全体科目数	【必修】	科目
	【選択】	科目
対象コースにおいて、JDS留学生は英語で受講可能な科目のみを履修することで、卒業に必要な単位を取得することが	☐ 可能	☐ 不可能
上記で「不可能」を選択した場合は補足		

3. 研究科／専攻の定員と留学生数

修士課程の全体定員	人/年度
修士課程の在籍人数	人(調査票作成時の最新実績情報)
留学生の在籍数	人(〃)
留学生の割合	%(〃)
英語で指導を受ける留学生の在籍数	人(〃)

4. 研究科／専攻の体制

論文指導等主たる指導を行うことが可能な教員の数	人
内、英語での指導ができる教員の人数	人
教員一人当たりの学生数	人

5. JICA開発大学院連携

JICA開発大学院連携における状況	
⇒「JICA開発大学院連携プログラム(JICA-DSP)の授業科目を設置する研究科」または「同大学」を選択した場合、各大学におけるプログラム(個別プログラム)名を記述	
⇒「その他」を選んだ場合(具体的に記述)	

6. 入学条件・規程

16年間の修学期間について	☐ 必須	☐ 必須ではない	☐ 応相談
求められる英語能力	(TOEFL)	点以上を希望	
入学時に必要なその他資格要件			
募集時に周知すべき独自の内規等			

7. 募集・選考方法

下記のようなJDS独自の選考方法への対応について ①書類審査(大学教員):JDS専用応募書類にて選考 11月頃 ②現地面接(大学教員が現地へ5日間程度出張) 12-2月頃 ③最終面接(最終合格者は運営委員会で選定し、決定)3月頃 ④大学での受入確定(正規入学願書提出)3-5月頃 ※なお、④の段階で、③の合格者を不合格にはできません。	☐ 対応可	☐ 対応不可
数学試験の実施について ⇒必要な場合の対応方法	☐ 必要	
	☐ 試験は大学側で準備可能	☐ 他大学やJASSO作成試験で代用
大学独自の筆記試験について ⇒必要な場合の試験科目名と時期	☐ 不要	☐ 必要
その他、必要な試験等特記事項		